

行橋市農業委員会委員に関する推薦および応募の状況(最終公表)

【応募】

No.	氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営状況	応募する理由	重複応募	認定農業者等
1	富田 和重	農業	75	男	昭和56年3月～ 農業従事 昭和59年6月 行橋市農協青壮年部支部長 就任(約10年間) 平成23年6月～平成25年5月 福岡みやこ農協理事 平成25年6月～令和5年6月 福岡京築農協理事 令和6年6月～現在 行橋市農業委員	田 46,369㎡ 畑 996㎡ (水稲)	現在の農業、農家を取り巻く情勢は非常に厳しい状況下にあります。しかし、農業すなわち食と農は国の根幹をなすもので、国の形であり、日本の文化でもあります。 一方、農家自体の農業離れや、農家の高齢化が進み、後継者の世代交代が上手くいっていないのも現実であります。幸いにも行橋というこの地域は、自動車産業関連企業や安川電機などの製造業がとても盛んです。だからこそ今まで以上に、農と工の調和、融合が大事になってきます。農業委員会、農業委員は農業だけでなく、工業と企業の知識、経営的な感覚が求められていますし、必要なのです。 私は、持っている農業や工業の知識、経営感覚を遺憾なく発揮し、英知と勇気と情熱をもって判断し、行動したいと思います。	無	
2	吉村 郁子	自営業	64	女	平成26年～現在 宮市区評議員 平成29年～現在 行橋法人会理事 令和5年7月～現在 行橋市農業委員		3年間農業委員を務め、高齢化した農業従事者の人手不足、今後の農業のあり方など考えさせられることが多くありました。農業委員を再任させていただき、農地の最適な利用法など今後も課題に取り組みたいと考えました。	無	
3	村上 美明	農業	66	男	平成5年～ 農業従事 令和6年11月～現在 行橋市農地利用最適化推進委員	田 26,615㎡ (水稲)	私は、30年間農業に従事し、令和6年11月より農地利用最適化推進委員を務め、地域農業の振興に寄与してきた。 これまでの経験を活かし、農業委員として農地の利用集積、集約を推進し、担い手を育て、農地を守り、行橋市農業発展に貢献したい。	有	
4	川本 博	農業	73	男	平成5年4月～ 農業従事 平成29年4月～令和7年3月 西谷区長(4期8年) 平成29年4月～現在 西谷地区農事組合長(9年) 令和5年7月～現在 行橋市農業委員	田 230,800㎡ 畑 1,761㎡ (水稲)	私は30年以上農業に従事し、農事組合長、区長、農業委員を歴任し地域農業の振興に努めてきました。 農地の利用集積・集約を推進し、地域農業に貢献したく応募しました。	無	○
5	松蔭 利幸	会社役員	52	男	平成25年2月～ 農業従事 平成25年2月 アグリプロ株式会社設立 代表取締役に就任 現在に至る	田 177,002㎡ 畑 2,916㎡ (水稲、飼料作物、麦、ほうれん草)	近年の急速な少子高齢化に伴い農業従事者の高齢化と減少は行橋市内でなく国内において深刻な問題であり農地の有効活用、担い手育成は、耕作放棄地の解消と自給率維持に向け欠かせない課題であると言えます。 意欲ある担い手を育て農地の有効活用し自給率向上させるお手伝いの架け橋の一人であればと思い応募させて頂きました。	無	○
6	川原 敬一	会計年度任用職員	57	男	令和6年8月～現在 行橋市職員倫理審査会委員 令和7年6月～現在 行橋市歴史資料館 事務補助 法律を勉強中		地域の基幹産業である農業を支える活動に携わりたいと考え、農業委員に応募致しました。 農業に関する知識は学びながらになりますが、これまでの仕事で培った調整力や事務処理能力を活かし、農地の適正利用や地域農業の課題解決に貢献したいと考えております。 地域の人々と協力しながら、持続可能な農業の実現に取り組んでいきたいと思っております。 行橋市の発展のため、地域の課題に真摯に向き合う姿勢で取り組みます。 中立な立場で公正な判断が出来るように努めます。	無	

7	矢野 香苗	農業 保育士 非常勤	42	女	平成17年～ 農業従事 自ら耕作するほか、田畑の耕作補助	田 892㎡ (水稲)	実家が園芸を主に田んぼ、畑作の専業農家だったために幼少より農業に親しんできました。 現在の農業後継者・担い手不足の農業の現状に危機感を抱く中、少しずつでも耕作地を増やして家族農を守っていききたい。 自分の農業活動を通して耕作放棄地、遊休地の解消を行っていく中で最適化推進委員の方々と連携し、農地の保全と行橋の農業振興・発展に努めていきたいです。	有	
8	藤川 放作	農業	67	男	平成2年～ 農業従事 令和3年～現在 地元自治会会長 令和6年～現在 行橋市農業委員 令和6年 市内の耕作放棄地を再生 令和7年～現在 農事組合法人理事 令和7年 市内外の耕作放棄地を再生 環境保全型農業に取り組む	田 32,726㎡ 畑 189㎡ (水稲、玉ねぎ、ジャガイモ、ブロッコリーなど)	国の推進する「緑の食糧システム戦略」の適用となる行橋・京築地方の環境保全型農業拡大に向けて、農事組合法人を設立し組合員を増やすことで、3月時点で新規農業従事者として38家族を育成をしている。 自身の耕作分とは別に、耕作放棄地・遊休地の解消を含め31,000㎡の圃場にて新規従事を達成した。 令和9年度に向けては、面積と新規農業従事者を倍に増やす目標を立てている。 行橋の持続可能な農業推進、保全に尽力し農業委員会の大きな目標に寄与していきたい。	無	

※ 農地面積は、農地台帳等により確認した面積を基に記載しています。

※ 認定農業者等の取扱いは、関係法令等を踏まえ、関係資料に基づき整理します。